

あすから全国パソコン技能競技大会 千種高3年宮本さん出場

全国パソコン技能競技大会に出場する
宮本大稀さん 千種高校



「日本語スピード」種目に挑戦

栗 穴
千種高校（栗粟市千種町千草）パソコン部の3年宮本大稀さん（17）が、5日に名古屋市内で開かれる全国パソコン技能競技大会の「日

本語スピード」種目に出場する。7月に日本情報処理検定協会の文章入力スピード認定試験（日本語）を受け、1級に合格することで挑戦権を手にした。

課題として与えられた日本語の文章を10分間で入力。認定試験では1文字間違えるごとに1文字減とされ、正確な文字が千を超えれば1級合格となる。宮本さんは1054文字（ミスは36文字）で突破した。

2年生の時に入部した宮本さんは自宅でも練習用ソフトなどを使い、腕を磨いてきたが、試験前は成績が伸び悩んでいたという。そこで正確さにこだわっていた考え方を修正。10分間のうち8分は正確性にこだわりのつつ、残り2分は速度を重視すると千文字を超えるようになった。

全国大会では約2千文字を入力する参加者もいるという。宮本さんは「練習よりも正確な文字が打てるよう集中していきたい」と意気込む。

（村上晃宏）